

あおえネットワーク

岡山赤十字病院 患者サポートセンター



研修会・カンファレンスのご案内

※ポスター同封
※会場参加の際は、感染症予防対策にご理解・ご協力をお願いいたします。

日時・会場	名称	演題・演者等
令和6年7月3日(水) 19:00~19:20 岡山赤十字病院 南館1階 研修室 (ハイブリッド開催)	第29回 地域連携パス 連絡会	【脳卒中パスについて】 岡山赤十字病院 脳卒中科部長 岩永 健 【大腿骨頸部骨折パスについて】 岡山赤十字病院 第二整形外科副部長 (兼) リハビリテーション科副部長 上甲 良二
令和6年7月3日(水) 19:30~21:00 岡山赤十字病院 南館1階 研修室 (ハイブリッド開催)	第90回 岡山赤十字病院 病診連携研修会	テーマ『脳卒中における病診連携』 講演1:『Seamless であるために』 岡山赤十字病院 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 末永 綾香 講演2:『もも脳ネットで培った脳卒中地域連携』 岡山赤十字病院 脳卒中科部長 岩永 健 《生涯教育カリキュラム(1.5単位): 12 地域医療(1.0) 32 意識障害(0.5)》

入院患者さまの面会制限緩和について

令和6年4月8日(月)より面会制限を緩和しております。詳細は当院ホームページをご覧ください。

1. 面会可能日 曜日を問わず、下記時間帯のみ面会可 (*土日祝日も面会可能です)
2. 面会時間 15:00~18:00
1患者さまにつき1日1回30分以内、12歳以上のご家族さま2名まで

患者情報連携ネットワーク「KChart(ケイチャート)」不具合のお詫び

令和6年5月より運用開始をご案内しておりました「KChart(ケイチャート)」で、サーバーの障害によりご利用いただけない状況が発生しておりました。連携医療機関の皆様には、ご不便ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。



薬剤部に「錠剤自動仕分返納装置Genie(ジーニー)」がやってきました

錠剤自動仕分返納装置Genie(ジーニー)は、いろいろな種類の錠剤を自動で仕分けてくれます。一包化薬剤を再利用する際に、今までは2名の薬剤師がピンセットで一つ一つ仕分けていた作業をGenieが担うようになります。薬剤師の時間と労力の削減、医療安全の面から考慮し、Genieを購入しました。



ご要望・ご意見等ございましたら、「診療所の先生方の声」として地域医療連携課までお寄せください。
TEL/086-235-8555 FAX/086-235-8556 e-mail/renkei@okayama-med.jrc.or.jp

院内Topics ニュース&報告

第88回岡山赤十字病院病診連携研修会

3月6日に第88回岡山赤十字病院病診連携研修会が開催されました。今回のテーマは『認知症診療における病診連携』、参加者は89人(現地36人、Web53人)でした。アンケートでは、レカネマップについて関心があり勉強になった、最新情報が聞けてよかった、地域包括支援センターとの連携の大切さを改めて学んだ、などのご意見をいただきました。



第124回日本外科学会定期学術集会 三谷嘉史先生が「優秀演題賞(研修医・専攻医部門)」を受賞!

去る4月18~20日にAICHI SKY EXPOで第124回日本外科学会定期学術集会が開催されました。この学会は国内で行われる外科系学会の中で最も規模の大きい学会であり、今回岡山赤十字病院からは杭瀬、赤井、柳原(外科専攻医2年目)、三谷(初期研修医2年目)の4名が発表しました。



いきなり全国、しかも国内最高峰の学会でデビューした三谷は、優秀演題賞を受賞し表彰されるという、いわばプロ初打席で初球ホームランを打ったような華々しい初陣を飾りました。彼の発表は、臍頭十二指腸切除術における術前・術中因子と術後臍周囲感染を後方視的に解析してリスク分類を行い、感染起因菌と抗生剤感受性からリスクに応じた予防的抗生剤を選択すれば術後感染を低減しようと提唱した内容だったのですが、外科研修の抄読会で読んだ論文の知見に興味を持ち、当院のデータを解析し、新たな視点でリスク分類して今回の発表へとつなげたもので、内容としては上級演題に採択されてもおかしくない内容であり、研修医2年目でここまでやり切った彼を非常に頼もしく感じました。

ひとえに日々の努力と研鑽、向上心の結果であり、自信をもって引き続き修練してほしいと思います。また、日頃より修練しやすい環境をつくって下さっている病院スタッフ皆さんの勲章だと感じ、報告させ



ていただきました。より一層の飛躍を目指して消化器外科全体で精進していきますので、今後ともよろしく願いいたします。

消化器外科 杭瀬 崇